



藤沢記者クラブ各位

## 手足口病の流行警報を発令します ～石けんと流水による手洗いなど感染防止対策に努めましょう～

本市では、感染症発生動向調査による2024年第27週（7月1日～7月7日）における手足口病患者の報告数が、定点\*あたり10.40人（定点数10か所、報告数104人）となり、流行警報基準値の「定点あたり5.00人」を超えたため、流行警報を発令します。

本市での手足口病の流行警報は、2022年第34週（8月22日～8月28日）における発令以来、2年ぶりとなります。

流行警報は、終息基準の「定点あたり2.00人」を下回るまで継続します。

手足口病のウイルスは、アルコール消毒が効きにくいいため、石けんと流水によるこまめな手洗いが重要です。基本的な感染予防対策、体調がすぐれない時には保育園等を休むなど、感染拡大の予防にご協力ください。

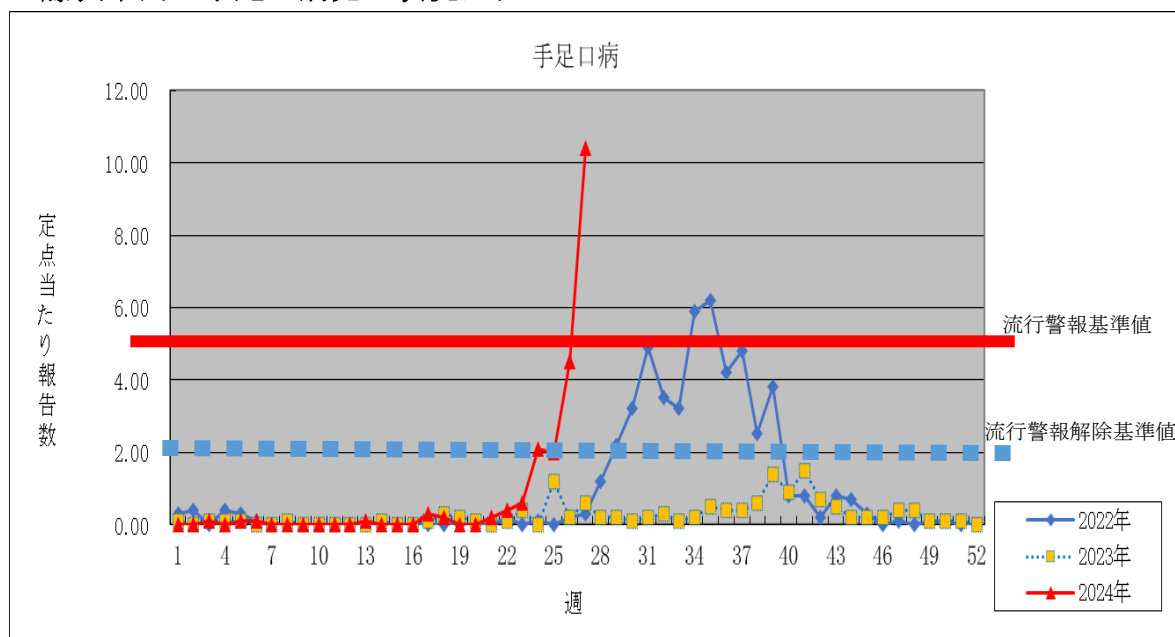
※「定点」：定期的に患者発生状況の報告をいただいている市内医療機関（手足口病の場合は、小児科定点10か所）。定点あたりの数とは、1週間分の患者数の平均値。

### ▼手足口病の定点あたり基準値の推移

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
24週	6月10日～6月16日	4.73	2.93	2.10
25週	6月17日～6月23日	6.31	4.30	2.00
26週	6月24日～6月30日	8.45	7.65	4.50
27週	7月1日～7月7日	-	-	<b>10.40</b> (流行警報発令)

《裏面あり》

## ▼藤沢市内の手足口病発生状況グラフ



### <手足口病とは？>

手足口病は、主にコクサッキーウイルスA16やエンテロウイルス71型などにより、手足や口の中などに水疱性（水ぶくれ）発疹ができる感染症です。夏に流行する傾向があり、乳幼児や小児で発症することがほとんどですが、成人でも感染する場合があります。

#### 1 主な症状・治療方法

感染から3～5日後に、口の中や手のひら、足の裏などに2～3mmの水ぶくれができます。特別な治療法はなく対症療法が基本ですが、ほとんどの場合、数日間のうちに治ります。まれに髄膜炎、脳炎などを合併し重症化することがあり、嘔吐、高熱が続くなど症状が強い場合には、適切に医療機関を受診することが大切です。

#### 2 感染経路

飛沫感染、接触感染、経口感染 など

#### 3 予防方法

石けんと流水による手洗いが重要です。また、おむつを交換する際は、排泄物の適切な処理と交換後の手洗いを必ず行いましょう。ドアノブやおもちゃなどの消毒には水で薄めた塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）が有効です。なお、霧吹きボトル等による噴霧は、吸い込みの危険がありますのでおやめください。

\*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 健康医療部 保健予防課

担当： 幸田・加藤

内線： 7171

直通： 0466（50）3593